



研修視察

9月17日(土)

◆参加者の感想◆

- ・初めて間近に盲導犬と接し感激いたしました。たくさんの厳しい訓練をうけて、盲導犬になるのだと思いますが、まずは1歳までにしっかりとパピーウォーカーのもとで愛情をそそいでもらい、人が大好きになるという前提のもとに成り立っているのだなぁと思いました。盲導犬育成に関わっている方々の愛情、人から犬への愛情、そして犬から人への愛情を感じる研修となりました。
- ・盲導犬訓練センターに行くこと、盲導犬にふれあうこと、全てが初めてのことでした。目の不自由な方の苦労や気持ちを理解でき、とても勉強になりました。これからの生活で自分だけではなく、周りの方などにも今日のことを伝え、障がいのある方へのサポートがみんなでするよう自分自身も努力していきたいと思いました。
- ・盲導犬の生活や訓練の方法、生涯について具体的に知ることができて有意義でした。町中であまり盲導犬に出会うことはありませんが、もしも出会ったら、心の中で応援したいと思いました。

岡山県では19頭の盲導犬が活躍中!

ウイティ

ふれあい・交流活動



障がい者施設

「ぽけっと」交流会

11月15日(火)



多津美公民館調理室にて、総勢38名でおいしいクレープ作りに挑戦しました。生地を混ぜて、フライパンで上手に丸型に焼いたり、果物を切ってアイスクリームや生クリームなどと一緒にトッピングをしました。どの班からも「おいしい!」と声が聞こえてきて、今年もとても楽しい交流会となりました。

天城学区民「ふれあい大会」※ 10月2日(日)



倉敷市立天城小学校において、大会実行委員会主催『天城学区民ふれあい大会』が開催されました。3年ぶりの開催となりましたが、約1000名もの多くの方が来場しました。たくさんの出店と地区対抗玉入れ、ビンゴゲームなどのイベントが盛りだくさんのふれあい大会でした。

多津美中学校区青少年を育てる会「親睦大会」※ 11月12日(土)

倉敷市立多津美中学校において、多津美中学校区青少年を育てる会主催『親睦大会』が開催されました。約600名が参加し、中学生たちが小学生や園児たちをサポートし、スポーツやゲーム、コンサートなどで盛り上がり親睦を深めました。



帯江学区子ども会「なんでもフェスタ」※ 11月27日(日)



倉敷市立帯江小学校において、帯江学区子ども会主催『なんでもフェスタ』が開催されました。あいにくの天気でしたが、続々と来場者が訪れ、約700名が参加し、出店や餅つき、ゲームコーナーなど体育館がたくさんの人で賑わいました。

※ 人権啓発用幟・看板設置、人権啓発ティッシュの配布、人権啓発キャラクターこころ出演

多津美中学校 <人権作文・映画鑑賞の感想>

校内人権週間

人権作文や映画鑑賞に取り組みました!!



< 人権を大切にしよう明るい地域をつくりましょう >
あたたかく思いやりのある人の輪~つなごう・ひろげよう~

①『いじめを通じて』(人権作文)

- ・いじめはその人に大きな影響を与える、改めてそう思えた。見ていただけじゃその人の助けにならないし、その間にも苦しい思いをしている。私は、そんな人に手を差し伸べることができる人になりたいと思う。
- ・感動した。心に刺さった。これを書いた人は前向きな人だと思った。いじめにあったことで相手の気持ちをより深く考えることができるようになった、というのに共感した。

②『平和のバトン』(人権作文)

- ・私も広島平和記念資料館を訪れたことがある。そして、激しい恐怖とともに、その当時の風景が私の頭にうかんだ。亡くなった方の遺品を見ただけで苦しかった。でも、この時代に生きた人々の思いがあふれていると思ったから、目をそむけることだけはしなかった。私も、彼女のように、祖父・祖母そして父・母がつないでくれた平和のバトンを渡せるような人になりたい。

③『変わらないもの』(人権作文)

- ・「その人のことを理解して寄り添う」ことは大切だと思ったし、すごいことだと思いました。
- ・この作文は介護する人たちのとても前向きな姿勢が見えた。僕の祖父は、体の半分がマヒして動けなくなっている。上手く話すこともできない。だから僕は、そんな祖父に前向きな姿勢で接していきたい。

④『見えないから 見えたもの』(映画鑑賞)

- ・今回の鑑賞で学んだことは、どんな辛い出来事があったとしても、それに立ち向かって、何としてでも「生きる」という気持ちが大切だと分かりました。



- ・私が一番心に残ったシーンは、主人公が、お母さんと二人で病院のベランダで「3階から飛び降りたら死ぬかな…」といていたシーンです。辛くて苦しいはずなのに、それでも死んだらおえんといっているところがすごく感動しました。諦めずに生きたからこそつかみとった人生なんだと気づかされました。
- ・竹内さんがいたから、障がい者に対して優しい環境が生まれたんだと思った。

帯江小学校 人権教育講演会

11月5日(土)

『みんなで考えよう ネットの世界』

講師 環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科 特任教授 平松 茂 先生



○ 保護者の感想

- ・分かっているつもりでも知らないことがたくさんあり、便利なもので溢れかえっている日常の中、自分が気をつけて理解していかないと怖いことを改めて考えさせられた。
- ・ゲーム機のリスクを知ることができてよかった。ブルーライトの影響も気になっていたのでメラニンの話も教えていただけてよかった。子どもと話し合いたい。

帯江幼稚園 人権教育講演会

11月19日(土)

『伝えたい言葉・歌 ～僕と君～』

講師 元倉敷市立北中学校長 内田 隆志 先生



○ 保護者の感想

- ・私たちは、毎日、子育てや仕事をしながら一生懸命生活している。その間にも、世界では様々な出来事が起きている。今、当たり前前に生活できることのありがたさに気付かされた。日常の中で忘れがちになっている「幸せ」について考えるきっかけになった。
- ・何も考えずに生活していたら、差別だと思っていないことも差別になっているのかもしれない。戦争を知らない国に生まれた人。平和を知らない国に生まれた人。自分たちがどれだけ幸せか、自分たちには何ができるのか、当たり前で当たり前ではないということを改めて考えることができた。